

<p>10月1日</p>	<p>木</p>	<p>14:00 ～ 16:00</p>	<p>口腔ケア研修 (株)野菊 会場：デイサービスひだまりの里かつらぎ テーマ「口腔ケアの基礎知識と実習」 講師：伊都歯科医師会 岡田隆秀先生 実習：伊都歯科医師会 加藤大太郎先生 参加者 社内：15名 社外：4名 (内、伊都薬剤師会1名)</p> <p>今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、収容人数の半分20名以下と設定し、社外スタッフの参加もぎりぎりまで待ち決定いたしました。もちろん入り口では体温測定、健康チェック、手指衛生など徹底した管理をしてくださいました。今回の研修開催は(株)野菊からの手上げで、「利用者がいつまでも食事を楽しく食べられるように」「職員のケアの質向上」「家族にも口から食べることの大切さを伝えていきたい」との思いがあり実現しました。その社長はじめ管理者たちの思い通り、講義中は講師の顔に穴が開くほど真剣に聞き入り、実習になると、さっと手を挙げ「指導を受けたい」「自分もやってみたい」と実践していただきました。ドライバーさんも机を運んだり椅子を並べたり、換気をしたり大忙し。実習が体験できないスタッフは手のあいている歯科医師を捕まえ質問するなど、開催側も満足度の高い研修会でした。</p> 
<p>10月8日</p>	<p>木</p>	<p>14:00 ～ 16:00</p>	<p>口腔ケア研修 (株)野菊 会場：デイサービスひだまりの里かつらぎ テーマ「ポジショニングについて講義と実習」 講師 医療法人誠佑記念病院 診療技術部リハビリテーション室 理学療法士 北出貴則先生 参加者 社内：15名 社外：4名 (内、伊都薬剤師会1名)</p> <p>車いすやベッド上で生活することが中心の方にとって、快適な座り心地、寝心地ですか？食事が自分で食べられる姿勢ですか？一度この車いすに座ってみてください。スタートから出席者を車いすに座ってもらい、参加型の研修が始まりました。利用者の身長に合った車いすの使い方、ベッドで横になる位置など、使い方で苦痛を与え、ちょっとした使い方で楽にもなる。参加者は「毎日やっていることなのに知らないことがある。」今回の体験型研修で姿勢づくりのポイントを学び、今まで実施してきたことを見直す機会になっていただければと思う。</p> <p>唯一社外から参加されていたJAケアセンターの方からは、「まずこの研修に参加できると聞いて胸が熱くなり、研修を受けて目からうろこが落ちた。もっとたくさんの人に伝えていきたい。」と話していました。</p> <p>...</p> <p>今年度は2回シリーズで開催しました。最後に土田歯科医師会長から、各(3)事業所代表者に終了証が授与されました。明日から、モデル人形で練習してから利用者実践したいと、仮名マイケル君だけ残して帰りました。</p> 

<p>10月24日</p>	<p>土</p>	<p>14:00 ～ 16:00</p>	<p>2020年度 認知症セミナー テーマ 認知症になってからも、自分らしく ～元気な時から備えて、地域と一緒に～ 講師：認知症介護研究・研修東京センター 副センター長（兼）研究部長 永田久美子先生 会場：橋本市保健福祉センター 参加者：70名（参加者44名＋スタッフ26名）</p> <p>共催：伊都医師会・伊都歯科医師会・伊都薬剤師会・ 地域包括支援センター（橋本市・かつらぎ町・九度山町・高野町）・ 橋本市認知症支援推進検討会・みかんの会 このように多くの団体で 共催するのは初めてでした。認知症当事者の会（みかんの会）から、 「この地域での認知症に対する意識を変えたい。講師は、自分の 生き方を変えた永田先生に是非お願いしたい。」 この一言が関係者を動かししました。 ウィズコロナで、初めてのことばかり。何度も何度も検討を重ね、 共催していただけたからこそ実現できたのだと思います。 永田先生の講演では、多くの方が、「認知症の人は自分の一歩先を行く人。」「認知症になっても、その人はその人で、その 人らしさで生きていく。」「元気な時から「備え」ながら息長く、自分の希望をメモしておく。」「家族に責任を課すのではなく、 地域で。」など多くのメッセージを心に留めました。認知症と診断された当事者の話は、本当に明るく、前向きに自分たちの道 しるべとなり歩いてくださっているのが伝わりました。 参加して下さった方、協力して下さった全ての方に感謝いたします。</p>          
---------------	----------	------------------------------	--